

# KOBE AWAY PRESS (仮)

We aim to provide a pleasure of watching away game, dreaming the spectacle of away crowd covered in crimson red.

Free!!

#60

あとおし。号

2019.6.15 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。



2週間の代表ウイークを終えてJ1リーグは昨日から再開、我らがヴィッセル神戸は今日、ここ味の素スタジアムでリスタートします。今日の相手であるFC東京は開幕から12戦負け無しを記録するほど、長谷川監督が指向する堅守速攻が冴え渡って現在リーグ首位のチーム。

その中でも一際目立つ存在なのが、ご存知弱冠17歳の久保建英選手。FCバルセロナのアカデミー出身選手としてアイデアと技術はやはり抜群。なのでシーズン当初は相手チームの厳しいマークにあって潰される場面も多かったのですが、最近はその中でも止められない選手になってきています。ただ、その久保選手はコパアメリカの日本代表に選出されているので今日の試合には出場しません。彼のプレーが見られないのは残念ですが、ヴィッセルとしてはその間にしっかりと勝利を手にしたいところです。但し、このスタジアムはヴィッセルにとって最近鬼門となっていて、2013年から勝利がなく、ここ3年間はいずれも試合終了間際に失点して0-1という悔しい敗戦が続いています。ですので、今日の試合は如何に前半で得点を挙げられるかが勝利への鍵となりそう。ヴィッセルサポーター全員で試合開始から全力で後押ししましょう!

J1 league had been restarted from yesterday.

Our first game after international matches is going to be held here at Ajinomoto stadium. Today, we will be against FC Tokyo, which hasn't lost for 12 successive games from the beginning of this season. They are now on the top of J1 League by succeeding the strategy of "strong defense and fast attack" lead by Hasegawa head couch.

The most outstanding player in the team, as you may know, is 17-year-old Kubo Takefusa. He had been brought up in the academy of FC Barcelona and has prominent ideas and techniques.

Although he was severely marked and defended in the beginning of this season, he is now becoming "unstoppable".

However, you can't watch him playing at today's game because he is selected as one of the Japanese representative players for Copa America. Unfortunately we miss him today, but it can be a good chance for Vissel to win the game during his absence.

However, Vissel doesn't have good results at this stadium since 2013, and we've been losing points just before finishing the game to finish in 0-1.

Therefore, today's theme may be how we get points in the first half.

Let's cheer them up at full tilt together!!

## 神戸讃歌

俺達のこの街に お前が生まれたあの日  
どんなことがあっても 忘れはしない

共に傷つき 共に立ち上がり 美しき港町 俺達は守りたい  
これからずっと 歩んでゆこう 命ある限り 神戸を愛したい  
オオオオオ オオオオオ...



## KOBE AWAY MARCH

どこまでも行こうぜ 勝利を信じて  
熱き友の想い 胸に宿して  
行こう 勝利へ  
トモニ戦え ラーララ ララララ!  
歌声響かせろ (KOBE!) 遠く神戸まで (KOBE!)  
さあみんなで帰ろう 神戸に帰ろう  
勝利この手に!

## 2019年度日程

節		日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
1	セレッソ大阪	2月22日(金) 19:30	(A) ヤンマー	● 0-1	10	コンサドーレ札幌	5月 4日(土) 14:00	(A) 札幌ド	● 1-2
2	サガン鳥栖	3月 2日(土) 15:00	(H) ノエスタ	○ 1-0	11	大分トリニータ	5月 8日(水) 19:00	(A) 昭和三井	● 1-2
3	名古屋グランパス	3月 6日(水) 19:00	(A) 瑞穂	△ 2-2	12	鹿島アントラーズ	5月12日(日) 14:00	(H) ノエスタ	● 0-1
4	セレッソ大阪	3月13日(水) 19:00	(H) 神戸ユ	△ 0-0	13	横浜Fマリノス	5月18日(土) 14:00	(A) 日産ス	● 1-4
5	清水エスパルス	3月17日(日) 14:00	(H) ノエスタ	△ 1-1	14	名古屋グランパス	5月22日(水) 19:00	(H) ノエスタ	● 1-3
6	ガンバ大阪	3月30日(土) 17:00	(A) パナスタ	○ 4-3	15	湘南ベルマーレ	5月26日(日) 15:00	(H) ノエスタ	○ 4-1
7	松本山雅FC	4月 6日(土) 19:00	(A) サンアル	● 1-2	16	ジュビロ磐田	6月 1日(土) 15:00	(A) エコパ	△ 1-1
8	大分トリニータ	4月10日(水) 19:00	(H) 神戸ユ	○ 2-0	17	FC東京	6月15日(土) 19:00	(A) 味スタ	○ -
9	サンフレッチェ広島	4月14日(日) 16:00	(H) ノエスタ	● 2-4	18	大分トリニータ	6月22日(土) 18:00	(H) ノエスタ	○ -
10	浦和レッズ	4月20日(土) 13:00	(A) 埼玉	● 0-1	19	名古屋グランパス	6月30日(土) 18:00	(H) ノエスタ	○ -
11	セレッソ大阪	4月24日(水) 19:30	(A) ヤンマー	● 0-1	20	清水エスパルス	7月 6日(土) 18:00	(A) アイスタ	○ -
12	川崎フロンターレ	4月28日(日) 14:00	(H) ノエスタ	● 1-2		湘南ベルマーレ	7月14日(土) 19:00	(A) BMWス	○ -
						横浜Fマリノス	7月20日(土) 18:00	(H) ノエスタ	○ -

※刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない 日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!

# 4年の時を超えて



おかげさまでKOBE AWAY PRESS(仮)は今号を持ちまして発行60号目となりました。これも日々スタジアムで読んで下さる皆様あってのことだと感謝しております。この場を借りて改めてお礼申し上げます。スタッフも過去のコラムを読み直していたところ、気になるコラムを見つけました。今回はそのコラムの振り返りとその後について執筆致します。それは第34号(2015.4.25)に投稿した吉丸選手のコラムです。

当時入団2年目の吉丸選手は年代別代表に度々召集され、リオ五輪出場を目指す若手の有望株でした。当時は若手選手の出場機会増を目的に結成されたJ-22(J3リーグに参戦、現在は廃止)にも度々召集されていました。リオ五輪出場も期待していましたが、J-22は僅か2年で廃止され、その後は実戦機会を失い、アピールの場もなくなりました。出場機会を求めてレンタル移籍を繰り返すものの、状況はなかなか変わりませんでした。もはやこれまでか、こう思われた方も決して少なくなかったと思います。

しかし2019シーズン、吉丸選手はチャンス掴みます。外国人枠の関係でキム・スングユ選手の起用が流動的となり、第2GKだった前川選手も本来の実力を発揮出来ない試合が続き、ルヴァン杯予選最終節名古屋戦で吉丸選手は久々の出場機会を得ます。結果は1-3の敗戦でしたが、続くリーグ湘南戦でも引き続きゴールマウスを守ることとなります。そしてこれがJ1リーグ初出場となりました。試合は4-1で勝利、実に2ヶ月ぶりの勝利を挙げました。吉丸選手にとってはプロ6年目で味わうリーグ戦初勝利でした。

育成年代から期待されていた吉丸選手。23歳で掴んだJ1初出場は苦難の連続でした。サポーターの期待していたリオ五輪出場は叶いませんでした。しかし、まだ日本代表としてW杯出場という夢は残っています。少し遠回りしてしまいましたが、いつの日か再び日の丸を背負う吉丸選手を見てみたいです。そして、吉丸選手がゴールを守り、いつの日か神戸にタイトルをもたらす姿を……。

## プレーの再開について

サッカーを最初に見始めた時に、最初に分らなかったことがあります。フォーメーション?オフサイド?いえいえ、どうしたらコーナーキックになるのか?です。そこで今回は、絶好の得点チャンスでもあるコーナーキックを始め、プレーの再開のルールについて書いてみます。まずは、スローイン。これはタッチラインと呼ばれる、両サイドからボールが出た時の再開方法です。ボールを出してしまった選手の相手チーム選手によって「両手」で「頭上」からボールを投げ入れます。どちらのボールなのかは、副審がフラッグで示します。次に、ゴールキック(GK)。これは攻撃側によってゴールラインを超えてしまった時に行われます。守備側が、ゴールエリア内(ゴール前の内側の四角いエリア)からキックによって再開します。

では、どうやったらコーナーキック(CK)になるのか。これは守備側によってゴールラインを超えてしまった時に行われます。コーナーキックと判定された場合は、副審がフラッグでコーナーを指すアクションをします。

最後は、フリーキック(FK)。ピッチ内で反則があった時に、相手側の選手に与えられます。反則の種類によって、直接得点を狙える直接フリーキックと、別の選手が触った後でないと得点にならない間接フリーキックの2種類があります。この区別は長くなりますので、また別の機会に。

いかがだったでしょうか、サッカーを長くご覧になっている方には当たり前の事ですが、意外と説明される事のないルールのお話。次回もお楽しみに。

**Facebook**  
<http://www.facebook.com/kobeap>  
**Blog** <http://kobeap.net/>  
**Twitter** @kobeap



KOBE AWAY PRESS(仮)編集部では、試合展望やコラムを書いて頂ける方を大募集中です。少しでもご興味持っていただけましたら、配布している編集部員に直接お声がけいただくか、Facebook/Twitterにてご連絡ください。よろしくお願ひします。

<b>1</b> GK 前川 黛也	<b>18</b> GK キム スングユ	<b>28</b> GK 吉丸 絢梓	<b>29</b> GK 荻 晃太	<b>30</b> GK 伊藤 元太
<b>2</b> DF 那須 大亮	<b>3</b> DF 渡部 博文	<b>15</b> DF 宮 大樹	<b>19</b> DF 初瀬 亮	<b>22</b> DF 西 大伍
<b>25</b> DF 大崎 玲央	<b>32</b> DF 橋本 和	<b>33</b> DF ダンクレー	<b>34</b> DF 藤谷 壮	<b>40</b> MF 小林 友希
<b>5</b> MF 山口 蛍	<b>6</b> MF セルジサンバル	<b>8</b> MF アブドゥイニエスタ	<b>14</b> MF 三田 啓貴	<b>20</b> MF 増山 朝陽
<b>24</b> MF 三原 雅俊	<b>27</b> MF 郷家 友太	<b>31</b> MF 中坂 勇哉	<b>35</b> MF 安井 拓也	<b>7</b> FW ダビド ビジャ
<b>10</b> FW ルーカス ボドルスキ	<b>13</b> FW 小川 慶治朗	<b>16</b> FW 古橋 亨梧	<b>17</b> FW ウェリントン	<b>21</b> FW 田中 順也

### ✓ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



**KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード**  
<http://kobeap.net/> 発行:KOBE AWAY PRESS(仮)編集部  
 Facebook <http://www.facebook.com/kobeap>  
 Twitter @kobeap (<https://twitter.com/kobeap>)



### 編集後記

U20 W杯での郷家選手と小林選手の活躍をワクワクしながらみていました。執筆時点では、予選ラウンドの2戦目を終えたところですが、きっと最高の成績を持ち帰ってくれていると思っています。世界を経験した若い力と、世界的レジェンドが融合した神戸。リーグ再開後の活躍が楽しみです。



このKOBE AWAY PRESS(仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね!

Keep clean